

令和8年10月30日  
消 防 庁

## 消防防災科学技術研究推進制度の 令和8年度第2期緊急枠研究開発課題の採択

消防庁では、消防防災分野における課題解決や重要施策推進に資するため、消防防災科学技術研究推進制度（競争的研究費）により研究開発を推進しています。

気候変動の影響により、台風や集中豪雨等による被害が年々深刻化していることから、こうした災害への対処能力を向上させる資機材・車両の改良・開発に係る研究開発課題の公募を行い、採択しましたので公表します。

### 1 経緯

令和8年度第2期緊急枠として激甚化・頻発化する台風や集中豪雨等の災害への対処能力を向上させる資機材・車両の改良・開発に係る研究開発課題を公募（令和8年5月22日～8月20日）した結果、7件の応募がありました。

この度、外部有識者による審査結果等を踏まえ、令和8年度第2期緊急枠の研究開発課題として5件の採択を決定しました。

### 2 採択課題

激甚化・頻発化する台風や集中豪雨等の災害への対処能力を向上させる資機材・車両の改良・開発

#### ○ 水深表示小型ディスプレイシステムの研究開発 （長野ポンプ株式会社）

センサーにより水深をリアルタイムで表示し、限界水深に達するおそれがある場合に警告を発することで、消防車両の安全な現場活動を支援するシステムを開発する。

#### ○ 冠水路での消防車水没を防ぐ水位警報システムの研究開発 （株式会社モリタ）

水位センサーと警報装置により、消防車両への段階的な警告を行うことで、冠水道路への無理な進入を防止する水位警報システムを開発する。

#### ○ 冠水地走行に適した消防専用高床式車両の開発に向けた研究 （いすゞ自動車株式会社）

従来の消防車両において、水深のある場合の走行性能を確認するとともに、シャシフレーム高違いでの走行性能も確認し、消防専用高床トラックの企画開発に繋げる。

○ 高床式可搬ポンプ付積載車の研究開発

(トーハツ株式会社)

水深 50cm まで進入可能な車両をベースとした可搬ポンプ付積載車を開発する。

○ 水陸両用かつ重機機能を備えた不整地搬送車両の研究開発

(株式会社鳥取クリエイティブ研究所)

市販農業機械を活用し、冠水地や泥濘地での走行、水上移動、資機材搬送及びクレーン作業を可能とする水陸両用不整地搬送車両を開発する。



< 担当 >

消防庁総務課技術戦略室

中嶋 ・ 関 ・ 鈴木 ・ 市川

Tel : 03-5253-7541

Mail : gisei2\_atmark\_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を  
「\_atmark\_」と表示しております。

送信の際には、「@」に変更してください。